



2020年6月12日

各位

会社名 H a m e e 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 樋口 敦士
 (コード番号: 3134 東証第一部)
 問合せ先 執行役員CFO 富山 幸弘
 (TEL. 0465-42-9083)

通期業績予想値と実績値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

2020年3月11日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した2020年4月期の連結業績予想値と本日発表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2019年6月12日付「2019年4月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表した2020年4月期の期末配当予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2020年4月期の連結業績予想数値と実績値との差異

(2019年5月1日～2020年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,288	1,427	1,438	974	61.29
実績値(B)	11,325	1,744	1,756	1,064	67.07
増減額(B-A)	36	317	318	89	
増減率(%)	0.3	22.2	22.1	9.2	
(ご参考)前期連結実績 (2019年4月期)	10,302	1,163	1,179	821	51.16

(差異の理由)

第4四半期連結会計期間において、新型コロナウイルス感染拡大に伴い日常生活の変容による「巣ごもり消費」の顕著化や、購買行動におけるEC利用の拡大(所謂「デジタルシフト」)など、消費行動が大きく変化いたしました。これによってコマース事業、プラットフォーム事業の各セグメントの業績について予想数値との差異が発生したものであります。

(1) コマース事業

第4四半期に発生した新型コロナウイルス感染症の影響について、国内卸販売においては、顧客の実店舗への来店客減少の影響が懸念されたものの、安定した商品供給力が評価され、既存取引先からの引き合いが強まるなど3月までは好調に推移いたしました。緊急事態宣言の発出を受け営業自粛をする顧客が増加したことにより4月は受注が減速いたしました。一方、国内小売においては、EC利用への「デジタルシフト」など、消費行動の変化による市場拡大の影響が見られたことから、国内卸販売の落ち込みをカバーし前年同四半期に対して大幅な増収となったことからコマース事業全体の粗利益率が改善し、当初予想を上回るセグメント利益を計上するにいたったものであります。

(2) プラットフォーム事業

第4四半期に発生した新型コロナウイルス感染症の影響について、コマース事業同様、日常生活の変容による「巣ごもり消費」の顕著化やEC利用への「デジタルシフト」など、消費行動の変化による市場拡大の影響により、ネクストエンジン顧客企業の受注処理件数も増加する流れにあることから、当該トランザクションに紐づく従量課金制としているネクストエンジンの売上も好調に推移したため、当初予想を上回るセグメント利益を計上するにいたったものであります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識したうえで、事業の継続的な成長や資本効率の改善等による株主価値の向上に努めるとともに、配当も継続的に実施していくことを基本方針としております。また、具体的な配当性向の水準として、当面の間は10%を確保する方針であります。将来的には20%～30%の安定配当を目指してまいります。

上記方針のもと、2020年4月期の業績動向が堅調に推移していることを勘案し、期末配当金について、1株につき普通配当6円50銭の予想から50銭増配の7円00銭に修正させていただきます（年間配当金も同様7円00銭となる予定であります）。

なお、本件につきましては、2020年7月下旬開催予定の第22回定時株主総会に付議する予定であります。

(2) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2019年6月12日発表)	—	6円50銭	6円50銭
今 回 修 正 予 想	—	7円00銭	7円00銭
当 期 実 績	0円00銭	—	—
前 期 実 績 (2019年4月期)	0円00銭	6円50銭	6円50銭

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当金は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以上